

## 単元案の概要

テーマ
ドイツ語で紹介する立命館グルメ
目標
学習レベル 2 立命館大学の「食」に関連する紹介文をドイツ語で作成し、日本語字幕付きの動画を作成してYouTubeで情報発信ができる。
コミュニケーション能力指標
食 1-f 料理の味や状態についての簡単な感想を述べるができる。 食 2-c 料理を勧めることができる。 食 2-f 料理の種類好みについて会話できる。 食 2-g 自分の食生活について、口頭で説明できる。 食 3-e 日本と相手の国の食文化について、会話できる。 買い物 2-e 商品について感じていることを、口頭で伝えることができる。
学習シナリオ
〈場面状況〉 立命館大学の「食」に関する紹介レポート動画をドイツ語で作成することとなった。自分が好きな料理や他人に紹介したい学内グルメについて意見をまとめ、グループで1つの動画を作成してYouTubeで発信する。 〈活動の流れ〉 ① 4～5人のグループに分かれる。 ② グループでどのようなもの（学食、料理など）を紹介するかというテーマを決める。 ③ 日本語で台本を考えてまとめる。 ④ 動画をどのように作成するかを話し合う。動画の構図や演技などを具体的に。 ⑤ 台本をドイツ語に翻訳し、提出する。 ⑥ 使用する単語リストを作成する。 ⑦ 教員が添削した台本を自分たちで書き直し、理解する。 ⑧ 動画を撮影し、それを編集する。 ⑨ 作成した動画に日本語の字幕を付ける。 ⑩ 全グループ提出後、クラスで鑑賞会をし、相互評価を行う。
総括的評価
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 選択したテーマについて、正確な情報を発信しているか。</li><li>・ ドイツ語の発音は適切か。</li><li>・ ドイツ語を流暢に話しているか。</li><li>・ 抑揚を意識して話しているか。</li><li>・ 対象物（学食・料理など）を視聴者が魅力的だと感じ取ることができるか。</li></ul>

3 × 3 + 3 分析

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	・「食」を紹介するのに必要な語彙、表現が分かる (A1)	・ドイツ人が興味をもちそうな「食」がわかる (D2)	
できる	・「食」について、ドイツ語で紹介する文章を作ることができる (B1)	・選択した「食」がどのような点で特長的なのかを田と比較し、分析することができる (E1)	・ドイツ語で作成した動画を YouTube で発信することができる (H3)
つながる	・お互いの発表を評価しあう (C1)		
三連携	連携1：グループ内で役割分担をし、積極的に活動する 連携2：著作権法 連携3：大学内の食堂や購買		

## テーマ：ドイツ語で紹介する立命館グルメ

### 指示文1：

4～5人のグループで立命館大学の「食」について紹介する動画を作成してもらいます。紹介するものは、学食そのものでも、あるいは立命館大学で食べられる（あるいは購入できる）特定の食べ物（メニュー）でも構いません。手順、提出物および注意点は次の通りです。

### 活動の手順

- ① 4～5人のグループに分かれる。
- ② グループでどのようなもの（学食、料理など）を紹介するかというテーマを決める。
- ③ 日本語で台本を考えてまとめる。
- ④ 動画をどのように作成するかを話し合う。動画の構図や演技などを具体的に。
- ⑤ 台本をドイツ語に翻訳し、提出する。
- ⑥ 使用する単語リストを作成する。

3週間

- ⑦ 教員が添削した台本を自分たちで書き直し、理解する。
- ⑧ 動画を撮影し、それを編集する。
- ⑨ 作成した動画に日本語の字幕を付ける。
- ⑩ 全グループ提出後、クラスで鑑賞会をし、相互評価を行う。

3週間

### 提出物

- ① 動画（総括的評価）
- ② 日本語の台本
- ③ ドイツ語の台本（形成的評価）
- ④ 単語リスト（形成的評価）

「外国語学習のめやす」マスタ－研修2014 課題発表：目標設定・学習活動・評価  
作成者：田原憲和/立命館大学准教授（ドイツ語）

指示文2（作成に当たっての注意点）：

作成に当たっては以下の点に注意して下さい。

- ① 動画を通じて何を伝えたいか(例:○○のおいしさ、△△のシャキシャキ感)というメッセージを常に意識すること。
- ② 単に自分たちが紹介したいものを選ぶのではなく、なぜそのテーマにするかという明確な根拠も考えること。
- ③ 一部のみに作業の負担が偏らないように、グループで協力すること。特に、ドイツ語に翻訳する際には全員でその作業を分担すること。
- ④ ドイツ語に翻訳する際にはネイティブ教員や Web 翻訳サービスなどを利用しても良いが、あくまでも参考程度にすること。
- ⑤ 自分が全く理解できない文章は他のクラスメートも理解できません。できる限り平易で短い文章にすること。
- ⑥ 原則として既習範囲内の文法事項で文章を作る努力をすること。ネイティブ教員や Web 翻訳サービスを通じて得られた文章でも、自分の知識で説明できない文章は使用してはいけません。
- ⑦ 動画にはグループのメンバー全員が映る必要はありませんが、必ず全員がドイツ語を話すこと。動画に全く出演しない人も、音声などで必ず参加して下さい。
- ⑧ 動画を作成する際には、著作権や肖像権に留意すること。具体的には、特に次の点について考慮して下さい。
  - a. 周囲の無関係の人が映り込んでも構いませんが、その人が誰かを特定できる程度のもは不可です。より具体的には次の通りです。
    - a-1. 後ろ姿は OK です。
    - a-2. 正面や横顔でも、遠くに映っているだけの場合は OK です。
    - a-3. 正面や横顔で、比較的近くに映っている場合は不可です。どうしても入ってしまう場合はモザイクを入れるようにして下さい。
    - a-4. インタビューをすると依頼し、また、この動画を YouTube で公開することについてもきちんと説明した上で許可を得た場合は、本人が特定できる程度のもでも OK です。
  - b. YouTube は JASRAC と使用許諾契約を締結していますが、本動画は「立命館大学の学食」あるいは「立命館大学で購入できる商品」を紹介する動画となりますので、場合によっては CM ととらえられるかも知れません。その際には CM 配信のための手続きをする必要があります。そのような手間を省くためにも、著作権の切れたものを使用するようにして下さい。音楽著作権は作者の死後 50 年以内は保護されます。具体的には次の通りです。
    - b-1. 現在生存中のアーティスト・作曲家の音楽を使用しないこと。
    - b-2. 死後 50 年未満のアーティスト・作曲家の音楽を使用しないこと。
    - b-3. 死後 50 年以上のアーティストの音楽の使用は可能です。
    - b-4. 死後 50 年以上の作曲家(例:モーツァルト)の音楽を使用する場合、50 年以内に録音されたものは使用不可です。(隣接著作権)
    - b-5. 死後 50 年以上の作曲家の音楽を自らが演奏して使用することは可能です。
  - c. ある商品や場所の紹介動画に音楽を使用した場合、音楽のイメージと商品や場所が結びつけられてしまうことがあります。音楽に特定のイメージがついてしまうこと、あるいは曲本来のイメージとかけ離れた状況で使用されている場合、作曲家や演奏者から使用停止の要請が出されることがありますので、この点も念頭に置いて考えてください。(著作権者人格権)
- ⑨ 日本語の字幕は、台本で用いている言葉をそのまま使用しなくても構いません。字幕として見ることができる範囲で表現を工夫すること。(参考:1秒あたり4文字)

目標の要素分解

個々のタスク	小目標	中目標	大目標
大学内でどのようなものが食べられるか、学食の特長や購買に置かれている商品の種類などを知る。	紹介する対象(学食・料理など)を決定することができる。	日本語で紹介文をまとめることができる。	立命館大学の「食」についての紹介文の動画を作成し、日本語字幕付きでアップロードできる。
外国人にとってどのようなものがおもしろいか、魅力に感じられるかどうかということを話し合うことができる。			
対象物に焦点を当て、特徴的な点、紹介したい点を列挙することができる。	紹介する際の構成(起承転結など)を考えることができる。		
紹介したいポイントを取捨選択し、どこに重点を置くか考えることができる。			
Mensa, frühstücken, zu Mittag essen など、食事に関する語彙を知る。	紹介するにあたって必要となる単語を調べ、リストにまとめることができる。	紹介文を適切なドイツ語に翻訳することができる。	
Kartoffeln, Gurke, Fisch など、野菜や食材に関する語彙を知る。			
Suppe, Sojasausage, Kuchen など、料理や調味料に関する語彙を知る。			
lecker, süß, salzig など、味覚に関する語彙を知る。			
(形成的評価1)	適切な文章構成に必要な単語を調べ、リストにまとめることができる。		
es gibt ○○(4格), ○○ liegt ～, Wir haben ～など、「(モノ・施設がある)」という表現を知る。			
Ich finde ○○(4格) △△など、意見を表明する表現を知る。			
zunächst, erstens, zweitens, dann, zum Schluß など、文章の順番を構成するのに必要な語彙を知る。			
(形成的評価2)		(形成的評価3)	

「外国語学習のめやす」マスター研修2014 課題発表：目標設定・学習活動・評価  
 作成者：田原憲和/立命館大学准教授（ドイツ語）

個々のタスク	小目標	中目標	大目標
正確なドイツ語の発音を知り、実践する。	聞き取りやすいドイツ語を話すことができる。	視聴者にとって魅力的な紹介動画を撮影することができる。	立命館大学の「食」についての紹介文の動画を作成し、日本語字幕付きでアップロードできる。
ドイツ語をはっきりと発音することができる。			
ドイツ語の抑揚(単語・文)を知り、実践する。	感情を込めてドイツ語を話すことができる。		
適切な音量やスピードを知り、実践する。			
身振り手振りを取り入れる。			
ドイツ風、欧米風のジェスチャーを知り、盛り込むことができる。	おいしく見えるように工夫して撮影することができる。		
動画の適切な構図を考える。			
対象物が最も美しく撮影できるポイントを知る。	できる。		
場面に適した音楽や効果音を挿入する。	見ていて楽しい動画を撮影することができる。		
画面切換えなどのタイミングを工夫する。			
必要に応じてアフレコを入れる。			
動画で話しているドイツ語の意味を知る。	日本語台本を字幕として適切な表現・分量に置き換えることができる。	日本語の字幕を作成し、挿入することができる。	
Super! 「最高だぜ！」のように、感情がこもりつつもシンプルな日本語を考える。			
Ich finde diese Suppe lecker.を「このスープ、おいしいね」のように、直訳ではないが状況がよく伝わる日本語を考える。			

形成的評価1

「食」に関連する基本語彙のカード(片面にドイツ語、片面に日本語)を作成し、グループ内で暗記テストを行う。(評価対象にはならない)

形成的評価2

提出された単語リストが正確なものかどうかの確認を行う。(評価対象) → 【成果物】単語リスト

形成的評価3

作成した台本のドイツ語が文法的あるいは表現的に適切なものかどうかの確認を行う。(評価対象) → 【成果物】ドイツ語台本

### 評価ルーブリック

#### テーマ：ドイツ語で紹介する立命館グルメ

評価基準	目標以上に達成 (4点)	目標を達成 (3点)	目標達成まであと少し！ (2点)	目標達成まで努力が必要 (1点)
台本（ドイツ語） ×2 【形成的評価】	動詞の位置などの文章理解の上で重大なミス（3pt）および動詞の人称変化語尾や名詞の性などの文章理解の上で軽微なミス（1pt）の合計が5pt未満で、内容がほぼ問題なく伝わる文章を作成できている。	動詞の位置などの文章理解の上で重大なミス（3pt）および動詞の人称変化語尾や名詞の性などの文章理解の上で軽微なミス（1pt）の合計が6pt～10ptで、おおよその内容が伝わる文章を作成できている。	動詞の位置などの文章理解の上で重大なミス（3pt）および動詞の人称変化語尾や名詞の性などの文章理解の上で軽微なミス（1pt）の合計が11pt～15ptで、内容の理解に努力が必要な文章である。	動詞の位置などの文章理解の上で重大なミス（3pt）および動詞の人称変化語尾や名詞の性などの文章理解の上で軽微なミス（1pt）の合計が16pt以上で、内容の理解がかなり困難である。
単語リスト 【形成的評価】	台本で使用している単語や表現をリストにし、適切な日本語訳を添えることができている。さらに単語を意味ごとに分類したり、名詞の性などの情報も自分たちで調べて盛り込んだりすることができている。	台本で使用している単語や表現をリストにし、適切な日本語訳を添えることができている。	台本で使用している単語や表現をリストにできているものの、日本語訳を添えていない。	単語リストを作成できていない。
内容的確さ	伝えたい内容に起承転結をつけるなど、うまくメリハリを付けてまとめることができている。	伝えたい内容をうまくまとめることができている。	一部に不明確な部分が残るものの、伝えたい内容がある程度うまくまとめることができている。	伝えたい内容をまとめようとする努力は見られるものの、的確にまとめることができている。
ドイツ語での語り	正確で聞き取りやすい発音だけでなく抑揚にも気を配って発話することができている。	正確で聞き取りやすい発音を心がけ、発話することができている。	正確で聞き取りやすい発音をしようとする努力が見られるものの、言いよどみや言い間違いが散見される。	ドイツ語を発話しようとする努力は見られるものの、相手にうまく伝わるようには発話できていない。
日本語字幕	視聴者の読むスピード（1秒あたり4文字）も考慮し、適切な分量の字幕を作成し、挿入できている。	動画の内容に合わせて適切な日本語字幕を作成し、挿入できている。	日本語台本をそのまま挿入しただけであり、字幕の特性が考慮されていない。	字幕を挿入できていない。

## 学習者の個人的特性に対する対応

### 学生 A

#### <特徴>

- ・ 教室窓側最前列に着席している女子学生。
- ・ 授業は欠席もせずまじめな態度。しかし非常におとなしい。
- ・ グループワークではほとんど傍観者となっており、積極性に欠ける。
- ・ グループワークでは学生 A の後方の座席に座っている女子学生グループが仲間に引き込んでいる（ただし議論には参加せず）。

#### <対応>

本学生に対する対応としては、グループワーク時にできる限り毎回声をかける事を試みた。グループレベルでは毎回全てのグループに声をかけて進捗を確認していたが、本学生には個人的に声をかけ、状況についていけているかどうかを確認した。結果、積極的に議論に参加する事はないものの、議論に耳を傾けようとする姿勢を見せ、またグループの他のメンバーもこれまで以上に声をかけるようになったように思われる。

### 学生 B

#### <特徴>

- ・ 教室中央最前列に着席している男子学生。
- ・ ドイツ語既習者であり（ただし知識量は並レベル）、「元気」な学生。
- ・ 声も態度も大きいため、ややもするとクラスの雰囲気は学生 B によって悪くなる可能性もある。

#### <対応>

学生 B に対しては、特に楽しんでプロジェクトに取り組めるように促した。具体的には、学生 B が属するグループが出した様々なアイデアに対して決して否定的な言葉を述べず、必要以上に褒めた。また、他のグループよりも早く、またたまたま教室内で撮影を始めたということもあり、周囲の学生に注目するように促した。衆人環視のもとで迫真の演技（？）を披露した事もあり、他のグループにとってもよい見本となり得たと考えている。